

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月14日

協議会名：十日町市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
南越後観光バス(株)	十日町車庫前＝新水＝菅沼 ＝後山＝浦佐駅東口＝魚沼 基幹病院線	・午前11時30分に魚沼基幹病院に到着していた第2便について、午前の診療を受けやすくし利便性を高めるため、令和7年4月1日から発車時刻を30分早め、11時病院着とした。 ・市の広報媒体を活用し、路線の利便性やダイヤ改正について市民に周知した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【利用者数】 目標：前年比100%を上回る 達成状況：前年比104.2% (R6：7,602人→R7：7,920人) 【収支率】 目標：前年比100%を上回る 達成状況：前年比96.3% (R6：16.0%→R7：15.4%) 未達成の主な理由：燃料費等の物価高騰や車両の老朽化による経費の増加 【十日町市の負担額】 目標：前年比100%を下回る 達成状況：前年比123.4% (R6：10,883千円→R7：13,428千円) 未達成の主な理由：燃料費等の物価高騰や車両の老朽化による経費の増加	・利用者の利便性向上と運行効率化のため、利用状況を適宜把握し、必要に応じて運行時刻を見直す。 ・路線の認知度の向上のため、市の広報媒体等を活用し周知活動を行う。 ・高齢者に対する運賃助成事業などの実施により、利用促進を図る。
十日町市	市営バス吉田線	該当なし(今回が初めての事業評価のため)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【利用者数】 目標：前年比100%を上回る 達成状況：前年比118.3% (R6：9,429人→R7：11,151人) 【収支率】 目標：前年比100%を上回る 達成状況：前年比62.0% (R6：16.3%→R7：10.1%) 未達成の主な理由：令和7年4月1日から高校生の運賃を無償化したことによる収入の減少 【十日町市の負担額】 目標：前年比100%を下回る 達成状況：前年比90.2% (R6：8,104千円→R7：7,311千円) ※新たに地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金が交付されることにより減少	・利用者の利便性向上と運行効率化のため、利用状況を適宜把握し、必要に応じて運行時刻を見直す。 ・路線の認知度の向上のため、市の広報媒体等を活用し周知活動を行う。 ・高齢者に対する運賃助成事業などの実施により、利用促進を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月14日

協議会名：	十日町市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	十日町市は新潟県南部に位置し、東は南魚沼市、北は小千谷市、西は上越市、南は湯沢町、津南町などと接している。面積は590.39km²、人口は46,077人(R7.11末現在)である。 当市の公共交通利用者は、人口減少や少子高齢化、モータリゼーションの進展などによって減少傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症による行動変容に伴う利用者の減少や、事業者の経営状況の悪化に伴う路線廃止や減便、運転手の高齢化など、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増している。 このような中、自動車を運転しない高齢者や高校生などにとって、地域公共交通は重要な移動手段であり、今後も確保していかなければならない。また、高齢化の進行や運転免許証の返納など、今後はさらに公共交通サービスの必要性が高まるものと考えられる。 このため、地域公共交通確保維持事業により、地域間交通(十日町市中心部と中山間地域の移動)や地域内交通(十日町市中心部内及び中山間地域内の移動)の役割を担う地域内フィーダー系統を確保・維持し、地域住民の交通手段の存続を図る必要がある。